令和８年９月再刊第 198 号

ＩＳＯ行動指針　“５ＳとＡＢＣの徹底”

オオケン便り

お知らせ

＜ＰＰＰ事業部＞

広島市留学生会館では、大学等の学期に伴い９月が居室の入退去における繁忙期を迎えるとともに、年２回実施している居住者全員面談の実施月となっています。新入居者にはオリエンテーションや生活支援セミナーを通じて日本で生活する上での注意事項を伝えるほか、居室使用上のルールについても日頃から繰り返し丁寧に指導し、理解を深めてもらっています。**新たな居住者が安心して日本での新生活をスタートできるよう、一人ひとりに寄り添った支援に取り組んでいます。**



＜ＳＰ事業部＞

１０月は５件の催事設営を予定。今回は、設営業務の受注を頂いた**「小林　秋　リビングフェア 2026」**のご案内です。**10 月 16 日（金）、17 日（土）**の両日 **10 時～16 時、広島市中小企業会館**で開催される**総合住宅展**です。各メーカーの住宅建材（床材、壁材他）、水回り（風呂、キッチン、トイレ）等、住宅に関する設備機器の最新機器を展示しており、実物を見て、触る体験ができます。新築、リフォームを検討中の方は是非、お越しください。お問合せ（SP 事業部　082-263-0013　三澤）

＜クレンリネス事業部

本社クレンリネス事業部の **NEW スタッフ**をご紹介します。８月 15 日付で本採用となった**桜田社員**です。６月に入社し、本社の食糧会館ビルや北部医療センターで実地研修を行い、現在は、河田産婦人科医院で業務に従事しています。今後、各現場にもご挨拶に伺いますので、よろしくお願いいたします。

＜ＦＭ事業部＞



FM 事業部では今年も年末に向け、建築基準法第 12 条に基づく法定点検を多数予定しています。建築設備点検（非常照明設備の点灯試験及び照度測定・換気量及び排煙風量の測定）、防火設備点検（防火シャッター・防火戸）、特定建築物調査（敷地と建物の状態・避難経路の管理状況等）を資格者が細かくチェックし、安全性を維持するための点検を行わなければなりません。**点検の結果、不具合箇所は早急に改善するとともに、これから悪くなりそうな所があれば予防策を講じ、安全で快適な建築物の維持管理に努めていきます。**

＜セキュリティ事業部＞



秋のイベントシーズンを迎え、各種イベントに伴う警備業務のご依頼をいただいております。イベント警備では、不特定多数の人や車両が会場へ出入りするため、**雑踏事故や交通事故、トラブル等を未然に防ぐための的確な誘導・案内**が求められます。

来場される皆さまに安心してイベントを楽しんでいただけるよう、現場の状況を的確に把握し、関係者との連携を図りながら、安全・安心なイベント運営を支えてまいります。

＜東京支店＞

９月に入り、朝夕の気温がようやく落ち着いてきました。季節の変わり目は気温差で自律神経が乱れやすく、夏の疲れが表に出やすい時期です。まずは**質の良い睡眠**を確保し、疲れをためないことが大切です。**寝る前のスマホ使用を控え、部屋を暗くして体を休める**準備をしましょう。**入浴はぬるめのお湯にゆっくり浸かる**ことで副交感神経が働き、疲労回復に効果的です。**水分補給**や**軽いストレッチ**も体調を整える助けになります。**無理のない生活リズムを保つ**ことは、仕事や通勤時の注意力にもつながります。体調を整えながら、ヒヤリハットの無い毎日を心がけていきましょう。

＜安全衛生管理委員会＞

９月から 11 月にかけて健康診断を実施します。健康診断は自身の健康状態を確認するための大切な検査となります。受診後、約 2～3 週間後に結果がお手元に届きます。診断結果、**要再検査**や**要精密検査などの診断**が出た場合は**必ず病院で検査を受ける**ようにしてください。健康診断の結果、早期に病気が見つかり、早期に治療を行うことで、病気が完治した事例も報告されています。健康は食生活や質の良い睡眠など、日々の積み重ねが大切となります。健康管理に十分留意しましょう。ご安全に！！

＜磨種（とぎぐさ）＞

日本各地で線状降水帯による浸水被害が発生し、海外でも大規模な土石流などにより、多くの人命が失われる災害が起きています。地球規模の気候変動がもたらす自然災害は、我々日本人の経験をはるかに超越した現象であり、これまでの経験だけでは十分に対応できない状況にあります。2006 年に公開されたアル・ゴア氏（クリントン政権下の副大統領）のドキュメンタリー映画『不都合な真実』は、地球温暖化の問題を広く社会に提起しました。それから約 20 年。気候変動の影響は、遠い将来の問題ではなく、私たちの身近な暮らしに関わる課題となっています。日頃からの点検、教育、情報共有、避難体制の整備等、日々の備えを大切にしていきたいと考えています。

さて8月 31 日、広島市中央公園ファミリープールが閉園しました。昭和 54 年開園以来 47 年間、当社が管理業務に携わってきました。大きな事故を起こすことなく運営を継続できたのは、現場で業務に取り組んできた社員一人ひとりの努力と、関係者の皆さまのご協力があったからです。閉園日の TV ニュースでは、大中幹夫社長と広島市みどり生きもの協会理事長が並んで感謝の挨拶をする姿を報じていましたが、当社を信頼してくださっていた様子に感激しました。2032 年６年後の再開が楽しみです。

ところで８月、長年お付き合いのあった取引先の経営者が逝去されました。長いお付き合いの中では、ご迷惑をお掛けすることもあり、その都度、原因を真摯に振り返り再発防止策を講じ、信頼を取り戻す努力を重ねてきました。過去の経験から学び、失敗を教訓として仕組みを改善することは、会社を存続させ、成長させるうえで欠かせないと改めて心に刻んだ次第です。

様々な課題を乗り越えて 62 年目を迎えた今、世の中は生成 AI をはじめとする大規模言語モデルや、ロボットなどの機械を自律的に動かすフィジカル AI の実用化が進んでいます。今後は、さまざまな業界で新しい商品やサービスが登場し、仕事の進め方や市場環境も大きく変化していくでしょう。このような流れから、いずれ身近な世界に新型製品が溢れ、再び価格破壊の波が押し寄せることも想定内として生き延びなければなりません。

その波がどのように押し寄せても、**「5S と ABC の徹底実践はなくならない」**と考えています。1962 年まで京都の東寺高校（後に洛南高校に校名変更）の元校長・三浦俊良氏が東寺塔頭宝菩提院で生徒や職員に対し**『諸君は社会の雑巾たれ～雑巾は自分が汚れて相手を綺麗にすることが使命なり～』**と説かれていますが、これこそが**「5S と ABC の徹底実践」の「源」**であると私は思います。

生成ＡＩやフィジカルＡＩの出現がこれらを凌駕することを期待しますが、自然大災害の予防が出来ぬものか疑問は続きます。